

# 企業主導型保育施設を

## 利用してみませんか？

企業主導型保育施設ってどんなところ？申し込み方法は？  
多様な働き方に応じて柔軟な保育サービスを提供する  
企業主導型保育施設の特徴やメリットをご紹介します！



### ◆◆◆ 企業主導型保育施設って？ ◆◆◆

企業主導型保育施設とは、どのような施設なのでしょうか？  
まずは、設立に至った背景や施設概要についてご紹介します。

#### 企業主導型保育施設とは

企業主導型保育施設は、国が行う「企業主導型保育事業」によって  
施設の設定や運営のための助成を受けている保育施設です。



こどもまんが  
こども家庭庁

<https://www.cfa.go.jp/policies/kokoseido/ryouritsu>

#### 企業主導型保育事業とは

企業主導型保育事業は、従業員の多様な働き方に応じた保育を提供する企業  
等を支援するとともに、待機児童対策に貢献することを目的として、平成28年度  
に内閣府\*が開始した企業向けの助成制度です。

助成対象である「企業主導型保育施設」は全国に約4,500施設あり、約11万人  
分の就学前児童の受け皿となっています。 ※令和5年度からは、こども家庭庁に移管



企業主導型保育事業ポータル  
<https://www.kigyounaihoiku.jp/>



利用検討中の保護者さま  
<https://www.kigyounaihoiku.jp/users>



企業主導型保育施設検索  
<https://www.areamarker.com/kigyo-hoiku/top>



# 企業主導型保育事業の特長は？

企業主導型保育施設は「働く世代」を応援するため、さまざまな形態で運営されています。場所・時間・サービスなど保育ニーズに応じた多種多様な特長やメリットをご紹介します。

## ◆◆◆ 企業主導型保育施設の特長をご紹介します！ ◆◆◆



### # 施設について

認可保育所並みの施設・保育水準を備えています

年に1度、児童育成協会による監査を実施しており、認可保育所と同等の厳しい設置基準をクリアしています。



### # 保育料について

認可保育所と同等の保育料です

企業主導型保育施設は認可外保育施設のため、保育料は施設が設定します。(企業主導型保育施設は幼児教育・保育の無償化制度の対象です)



### # 利用地域について

利用地域は限定されません

居住地域に制限されず、通勤に便利な場所にある保育施設に申し込むことができます。



### # 入園申し込みについて

施設に直接、利用申し込みをします

入園申込時は自治体を通さず、直接施設に申し込みをします。また、入園の決定も各保育施設が行います。



### # 利用について

夜間や土日、一時預かり・短時間利用が可能な施設があります

「週2日だけ」「一日3時間」等、多様な働き方に応じた柔軟な保育サービスの提供が可能です。



### # 病児保育について

病児保育を行う施設があります

病中※にある子どもを預かる「病児保育」/病気の回復期※にある子どもを預かる「病後児保育」を行う施設を利用することも可能です。

※医師の診断によります。

## 企業主導型保育施設のうれしいメリット

「認可保育所並みの施設・保育水準」と「認可外保育施設の多様性・柔軟性」を兼ね備えた企業主導型保育施設のメリットをご紹介します。

	認可保育所	企業主導型保育施設	認可外保育施設
基準	施設の設置基準、保育従事者の配置ほか運営基準等は認可保育所と同水準	安心安全	認可保育所と基準が異なる
助成	施設の工事費や運営費に認可保育所並みの助成を受けている		国からの助成がない(一部、独自に助成を行う市町村がある)
多様性柔軟性	・市町村に利用を申し込み、市町村が施設を指定する ・住民票のある地域の施設に限られる	・居住地域に限らず利用したい施設に申し込むことができる ・提供する保育サービス(開所日/時間/保育プログラム等)に独自色を出せ自由度が高い	

## さらにうれしい3つのメリット

